

かけはし

2017年
7月
vol.89

ご自由にお持ちください

【特集】めまい外来

あらゆる「めまい」を 明らかに



がんになっても 自分らしく生きるために

chapt— 02 多職種による支援で
治療中の悩みを解消

地域連携医療の絆

インフォメーション

地域の未来をみつめて— vol.02 無料低額診療事業

ウェブサイトが
リニューアルしました!

<http://www.fukui-saiseikai.com/>

地域の未来をみつめて

— vol.02

無料低額診療事業

県内の大規模病院では唯一の社会福祉法人である当院が、「済生の心」を胸に地域の未来を見つめ、地域の皆さんとともに取り組む活動（CSR活動）をご紹介します。



質の高い医療を、全てのの人に

「医療費のことが心配で治療をためらっていたけど、この制度があつて助かったわ。」

当院の無料低額診療事業の制度を活用された患者さんから、こんな声が届いています。

年配の方でも働き盛りの方でも、病气と診断されたら、身体や治療のこと、そしてこれからかかってくるお金のことも同じように不安に思われることでしょう。

様々な理由で生活に余裕がなく、病院に來られない人は少なくありません。受診が遅れて命を落してしまうケースもあります。

経済的な理由で必要な医療サービスを受けられない人などに対して、医療費の負担を減らし、無料または低額で診察や治療を受けてもらうのが、社会福祉法に基づく「無料低額診療事業」です。私たち済生会にとってこの事業は、生活困窮者支援と並ぶ大きな柱となっています。当院ではよろず相談外来が窓口となり、医療ソーシャルワーカーが患者さんからの相談や申請の受付を行っています。しかしまだ、自分から声をあげることができない人もたくさんおられます。そういう人たちにも制度の情報が届くよう、各市町の福祉課や地域の民生委員との連携にも努めています。

質の高い医療と、心のこもったサービスを、必要としているすべての人が安心して受けられるように。

事業の根本にあるのは「済生の心」なのです。

理念

患者さんの立場で
考える

行動指針

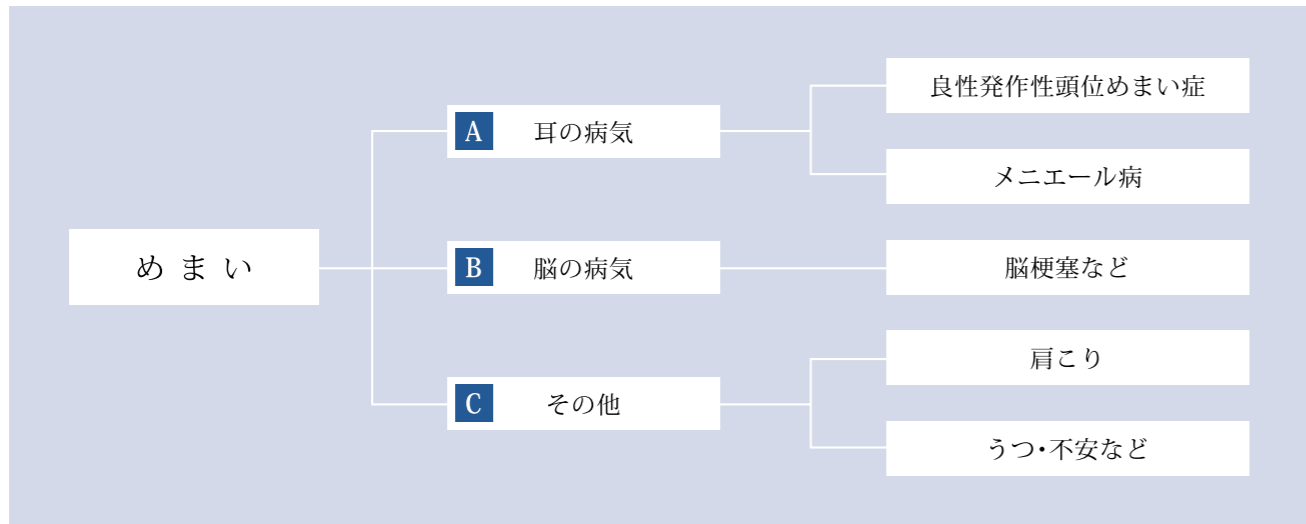
私たちは、患者さんの立場にたつて行動します
私たちは、信頼される医療を提供します
私たちは、チームワークを高め、活力溢れる職場をつくりま

かけはし vol.89 2017年7月

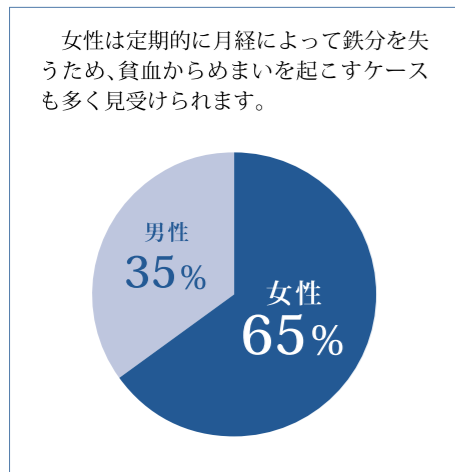
【発行】福井県済生会病院
〒918-8503 福井市和田中町舟橋7番地1
TEL: 0776(23)1111 (代)
【責任者】笠原善郎 【編集】経営企画室

めまいの原因

[図1]めまいの主な原因



[図2]めまいの男女比率



大きく分けて3タイプ
めまいの原因は多岐に渡りますが、以下の3種類に大別されます(図1)。

A 体のバランス調整を司る耳の障害から起きるタイプ。疾患数も多い。

B 脳梗塞等の脳の障害が原因で起きるタイプ。割合としては少ない。

C 肩こりや頭痛(片頭痛含む)・心理的要素(うつ・不安等)から起きるタイプ。

男女比で見ると女性65%、男性35%となっており、圧倒的に女性に起こりやすいことが分かっていきます(図2)。これは、女性の方が自律神経の乱れによる前庭障害が起こりやすいためではないかと考えられています。

めまいの主な疾患

受診者の大半は
良性発作性頭位めまい症

日々の診察から見えてくるのは、受診された方の5割が「良性発作性頭位めまい症」もしくは「メニエール病」と診断されるということです。

「良性発作性頭位めまい症」は仰向けから起き上がった時、寝返りを打った時に誘発されるもので、特定の三半規管(耳石)の異常によって起こります。一方、「メニエール病」は内耳のリンパ液が増え、水膨れの状態になる異常から起こる病気で、難聴を伴うめまい発作を反復するのが特徴です。これらと診断されれば、それぞれに適した治療が開始されます。

問題なのは、「検査しても異常が見えないめまい」。肩こりや頭痛、心因性によるめまいは、検査では原因が明らかになることが少ないため、病院を渡り歩く患者さんも少なくありません。日々の疲れや心身の不調がめまいを引き起こしている可能性が考えられますが、病気の見極めはご自分では難しいものです。そこで活用していただきたいのが「めまい外来」です。

特集

FEATURE

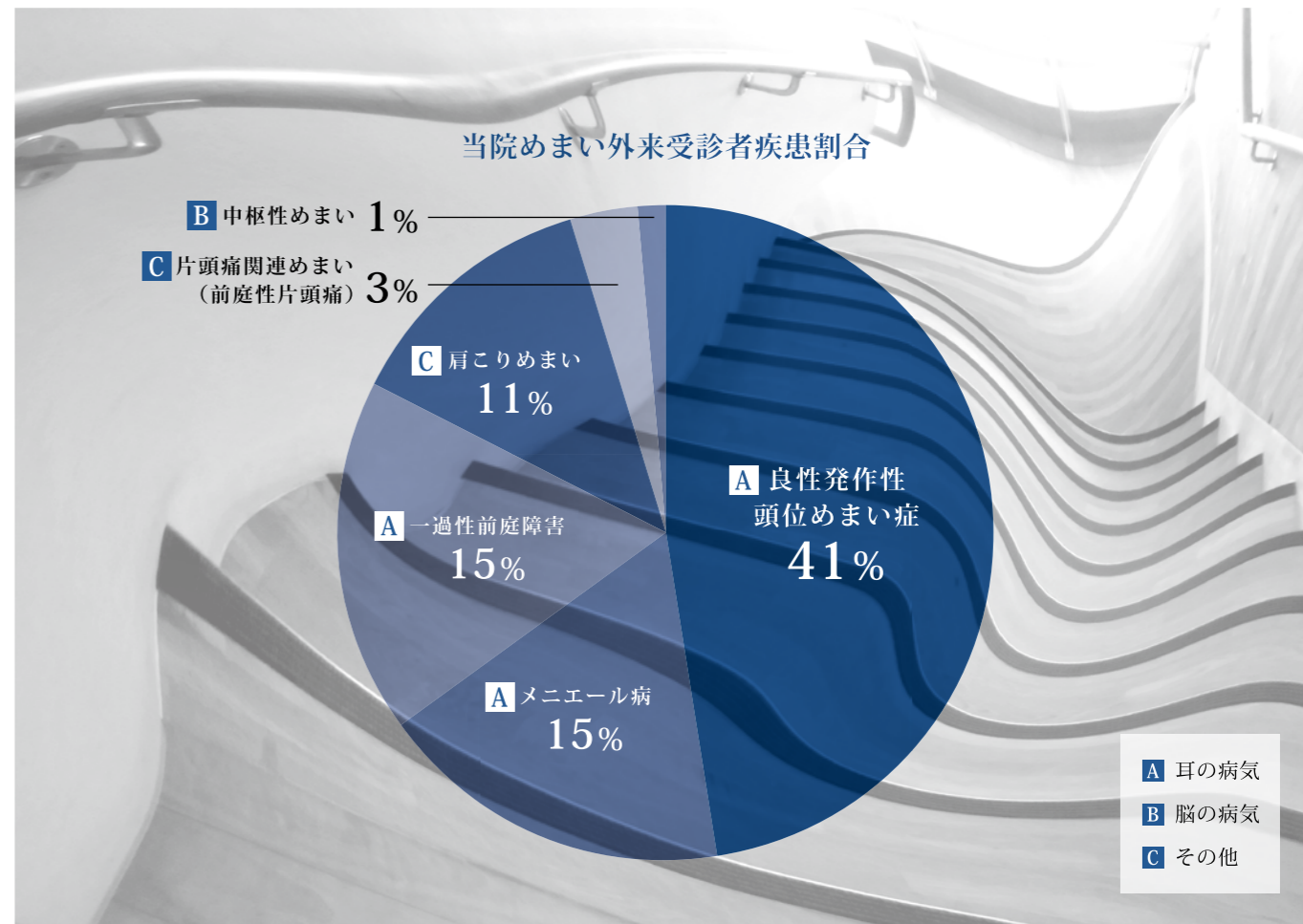
めまい 外来

あらゆる「めまい」を明らかに

一口に「めまい」と言っても、原因や症状は人それぞれ。だからこそ何科を受診すればいいのか迷ったり、診断や治療が難しいことがあります。当院には県内でも数少ない「めまい相談医*」が常駐しており、耳鼻咽喉科を中心として治療にあたっています。

気持ちよく日常を過ごせるように、「めまい」を知ることから始めましょう。

*「めまい相談医」とは、一般社団法人日本めまい平衡医学会が認定した、めまい診療の専門知識と治療技術を持つ医師のことです。



めまい外来とは

初診だけで年間400人

2010年に開設された当院の「めまい外来」ですが、初診の患者さんだけで年間400人にもものぼり、再診を含めると相当数になることから、いかにめまいで悩んでいる方が多いのかが分かります。

診療は、聴力検査↓診察↓眼振検査↓診断という流れで行います。中でも眼振検査が重要で、この結果によって診断が異なってくる。一度の診察は短時間で終わりますが、複数回来院していただき、経過のサポートまで行うことで再発・悪化防止に繋がっています。

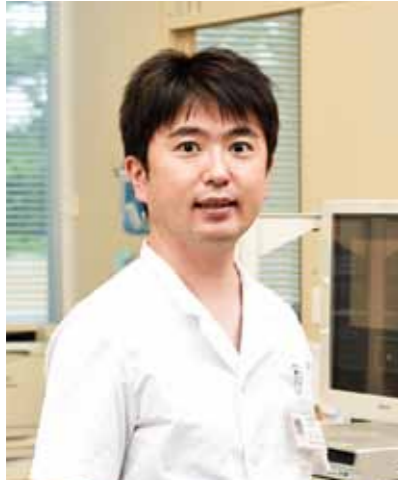
受診される患者さんには、「めまい＝脳の異常」と考えている方も多いのですが、実は脳の検査をしても「異常なし」と診断されることがほとんど。当院でも脳の異常は発見されず、めまい外来で完結するケースが大部分で、おおよその方が、原因が分かかって安心して日常生活に戻られています。

万が一、脳に異常が見つかった場合には、脳神経外科と連携して治療を進めていきますので、安心してご来院ください。

身体からのサインを軽視しないでください。

めまい相談医である清水良憲医師に、めまいで悩む患者さんへのメッセージを伺いました。

「少しフラフラする程度だから」と我慢してはいませんか？めまいは身体からのサイン。軽度だからと気後れせず、気軽に受診してください。



耳鼻咽喉科 主任部長代行 めまい相談医 清水良憲医師

具体的な治療法

めまいの種類によって治療法は変わってきますが、当院では医師が診察から治療まで担当するケースがほとんどです。

患者数が一番多い「良性発作性頭位めまい症」の場合は、障害のある三半規管を特定し、理学療法やリハビリによる改善を図ります。再発予防のための体操も指導しますので、無理のない範囲で行ってください。

「メニエール病」の場合には、内服薬での治療が主となります。処方された薬が効かない場合は、一般的な手順に「めまい相談医」である清水医師が経験則から見出したオリジナル要素を加えた方法で段階的に治療を行っていき、めまいのコントロールを図ります。この治療法で、約95%の患者さんの症状が落ち着いています。また、肩こりや頭痛からくるめまいには湿布や漢方薬などの処方を行っています。「たかがめまい」と思いがちですが、自己判断は危険を伴います。医師の診断のもと、適切な治療を行いますよう。

めまいにも流行期があり、春先の2〜3月や9〜10月の台風の時など、気圧・気温の変化が大きい時期には要注意です。

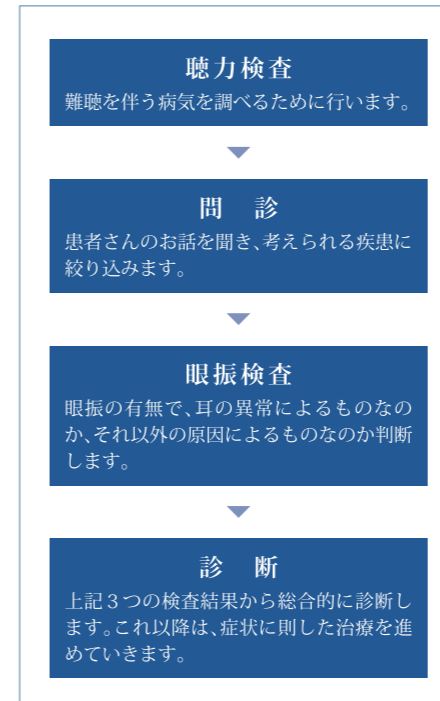
「めまいが良くなるのか、不安」という患者さんの声をよく聞きますが、すべてのめまいには原因があります。

正しい検査や診断を行うことで原因を突き止め、治療によって解消することができるのです。あらゆるめまいの悩みに寄り添った診

察・治療を行いますので、1人で悩まずにまずはご相談ください。



【図5】初診時診察の流れ



めまい外来を受診した患者さんの声

- 原因をはっきり診断していただき、ひと安心しました。(62歳男性)
- どこで診てもらえばいいのかわからなかったけど、こちらのめまい外来で診てもらえて良かったです。(84歳女性)
- 一過性のもので軽く思われるのではないかと不安でしたが、親切に接していただけて安心しました。(62歳女性)
- 話しやすく、色々質問できたので、不安が軽減されました。(39歳女性)
- 分かりやすく教えていただけたのが良かったです。資料を見ながら治していきたいと思えます。(70歳女性)

めまいに関するQ&A

- Q. めまいが起きた時は、どうしたらよいですか？
- A. まずは安静にしてください。気持ちを落ち着かせることが大切です。
- Q. めまいだけでなく、吐き気(むかつき)があります。すぐに病院に行くべきですか？
- A. どうにもならない時は、我慢せずにいらしてください。起こり始めのめまいの場合、安静にしても治らないこともあります。少し様子を見て落ち着いてから来ていただいても大丈夫です。その際は検査で眼振が見られないこともあります。症状によって治療を行いますので、ご安心ください。

めまいの症状に不安を感じたら、お気軽にご相談ください。

診察日／月曜～金曜午前
(午後は予約制となっております)
問合せ／Eブロック 耳鼻咽喉科外来
TEL. 0776-23-1111(代)

▶もっと詳しく知りたい方は
ホームページへ

福井県済生会病院 耳鼻咽喉科

検索



多職種による 治療中の悩みを 解消で

他科医師との連携

心臓疾患や糖尿病など、持病をお持ちの方ががんを発症したり、がん治療中に別の病気を発症することも珍しくありません。その際には、主治医と持病の専門医が連携し両方の治療を進めていきます。かかりつけ医がいる場合も連携体制を整えていますので、安心して治療が受けられます。



がん専門薬剤師



薬による副作用の治療・対策を積極的に提案し、安心・安全に治療できるようサポートします。

認定看護師



各専門分野の知識と技術で、入院・通院・在宅療養を支援します。

医療ソーシャルワーカー



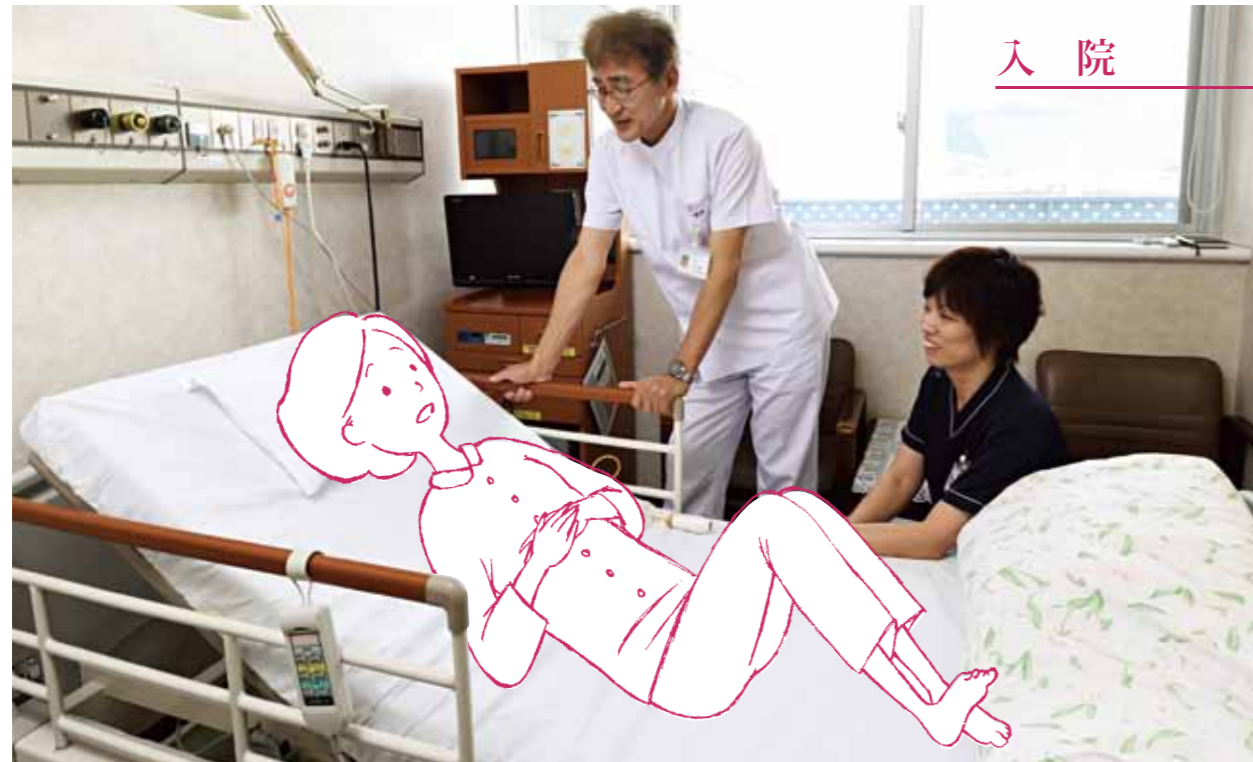
医療費のご相談や利用できる制度をご案内し、病気の状態に応じたお困り事に対応します。

医師

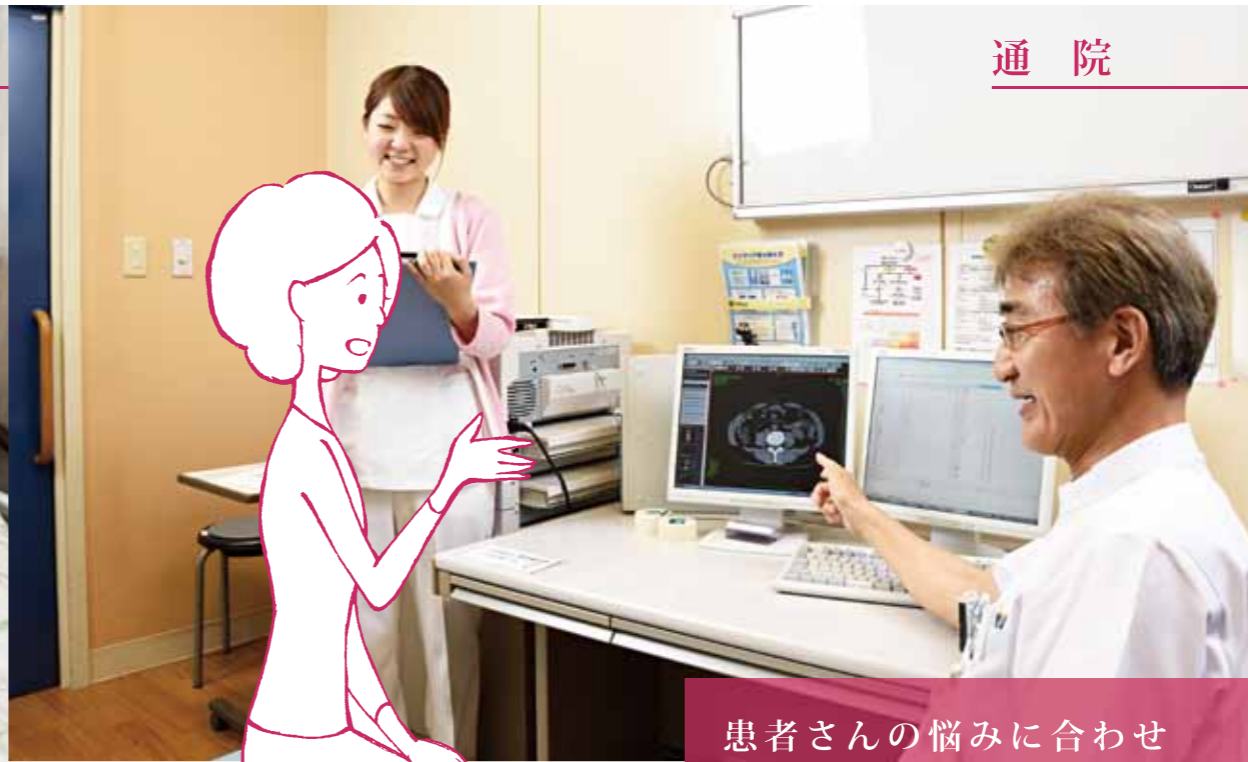


集学的がん診療センター
センター長 宗本 義則 医師

治療、副作用、経済面など、患者さんによって不安や悩みは異なります。「患者さんが何を一番望んでいるのか」に焦点を当て、悩みを解消していくことで治療にも積極的に向き合うことができ、良い効果が表れるのです。



入院



通院

患者さんの悩みに合わせ 専門スタッフがサポートします

従来のがん治療は、主治医と患者さんの「1対1」が主流でした。しかし当院では医師や看護師をはじめ、多職種のスタッフが多面的にサポートします。医療者間の連携も万全ですので、一人で悩まないでください。一緒に不安や悩みを解消しましょう。

相談支援センターや情報サロンのおかげで
漠然とした不安は消えたけど、
いざ治療が始まると分からないことが次々…。
これって誰に相談すればいいの？

たくさんの専門スタッフのおかげで、治療も頑張れそう！
これからは通院しながら治療を続けるけど、仕事との両立はできるかしら？



リハビリスタッフ



身体の動かしにくさや日常生活の不自由さを軽減できるようお手伝いします。

管理栄養士



食事に対する不安や質問にお応えし、栄養面でサポートをします。

臨床心理士



誰にも話せない不安や悩みをお伺いして、一緒に気持ちの整理をしていきます。



A子さん(40代)
気になる症状があり検査を受けたところ、がんを宣告される。治療や薬、家族、仕事など不安が山積。

鯖江市

口は「生きる」の基本です

きたお歯科

[歯科、小児歯科、予防歯科、口腔外科]

院長 きたお 綾乃

皆様の健口(健康)づくりのお手伝いをさせていただきます

赤ちゃんが「おぎゃー」と産声をあげるの、お口です。生まれた時から最期に息を引きとる時まで、飲む、食べる、呼吸する、話す、笑う、泣く…何げない日々の動作は健康なお口あってこそです。そして、お口の健康は全身の健康とも深く関連しているため、当院では積極的に予防歯科を呼びかけています。歯医者さんは苦手と…とトラウマを抱えていらっしゃる方も多くいますが、最近は健康のため歯のクリーニングに通われる方も増えてきています。歯科医師である私をはじめスタッフも全員子育て世代の女性ばかりです。ご自身・お子様のお口の気になることは、お気軽にご相談ください。

鯖江市水落町2-16-1
TEL. 0778-51-3335

[診療時間]
平日、土曜 8:30~12:30 / 14:00~17:00
[休診日]
水曜午後、日曜・祝日

[福井鉄道]
水落駅下車 徒歩約3分



越前市

充実した妊娠・分娩・産後を

井元産婦人科医院

[産科、婦人科]

院長 井元 宣胤
副院長 井元 康文

「またここで産みたい」に応えるために妊娠から産後まで細やかにフォロー

当院は敷地内に助産所があり、連携を取りながら丹南地域のお産を多数取り扱ってきました。両施設合わせて6名と助産師の数も多く、妊娠中の検診や分娩はもちろん、産後のケア・指導・相談にも手厚く対応できる体制を整えています。平成29年6月には『助産師外来』をスタートし、より確かな周産期医療が提供できるよう、一層の充実を図って参ります。産婦人科は一般的な病院とは違い、患者さんの7割が健康な妊婦さん。新しい命の誕生という幸せな瞬間をいかにリラックスして迎えられるか、そのためにまず安心して診療を受けていただけるよう、スタッフ一同日々心を配っています。

越前市堀川町6-25
TEL. 0778-23-3541

[診療時間]
平日 9:00~12:00 / 15:00~18:00
※木曜午後は15:00~17:00
水・土曜 9:00~12:00
[休診日]
水・土曜午後、日曜・祝日

[JR 北陸本線]
武生駅下車 徒歩約10分



坂井市

患者さんの立場で考えた診療

松井クリニック

[内科、呼吸器内科、アレルギー科、婦人科、皮膚科、小児科]

副院長 松井 芳憲

アレルギーから生活習慣病まで明瞭な説明と安心の医療をご提供

江戸時代末期にこの地で開業した当院は、時代の流れや患者さんのニーズに合わせて診療科目・スタイルを変えながら、地域の皆さまの健康維持に貢献してきました。現在は、院長が婦人科・皮膚科・小児科、副院長である私が呼吸器科・アレルギー科・総合内科という医師2人体制で、一人ひとりにあった最適な医療を提供できるよう日々努めています。当院の幅広い診療科目の中でも、アレルギー科は私の専門。花粉症の舌下免疫療法や喘息の専門的治療のほか、禁煙外来なども行っており、今年度からは特定健診も開始しました。診療時間は19時までなので、会社帰りにもお気軽にご来院ください。

坂井市丸岡町本町3-28
TEL. 0776-66-8380

[診療時間]
平日 9:00~13:00 / 15:00~19:00
土曜 9:00~13:00
※木曜午前は、済生会病院で呼吸器初診外来のため副院長は不在です。

[休診日]
土曜午後、日曜・祝日

[京福バス]
室町バス停下車 徒歩約2分



鯖江市

迅速かつ的確な診療

鯖江清水眼科

[眼科、小児眼科]

院長 清水 悠介

日帰り白内障手術からコンタクト処方まで幅広い疾患と世代に対応

患者さんにとって、待ち時間はなかなかの負担だと思います。特にお子様連れの場合は、なおのことです。その負担を軽減できるよう、当院では迅速かつ的確な診療を心がけています。また、院内処方を採用していますので診療から会計までを一カ所ですべて終わらせることができ、患者さんに喜ばれています。明治期に開業した当院は、地域とともに歩んできました。基幹病院クラスの医療機器を揃え、白内障の手術などは日帰りで対応しています。勤務医時代から小児眼科にも携わってきましたので、お子様からご年配の方まで幅広い診療が可能です。気になる症状がございましたら、ご相談ください。

鯖江市旭町2-1-30
TEL. 0778-51-0067

[診療時間]
平日 9:00~12:00 / 14:00~18:00
土曜 9:00~12:00
[休診日]
木曜、土曜午後、日曜・祝日

[JR 北陸本線]
鯖江駅下車 徒歩約3分



福井県済生会病院は各地区の医療機関と連携し、地域連携医療を推進しています。各医療機関の取り組みや診療体制をシリーズで紹介していきます。



ご案内
 Announce

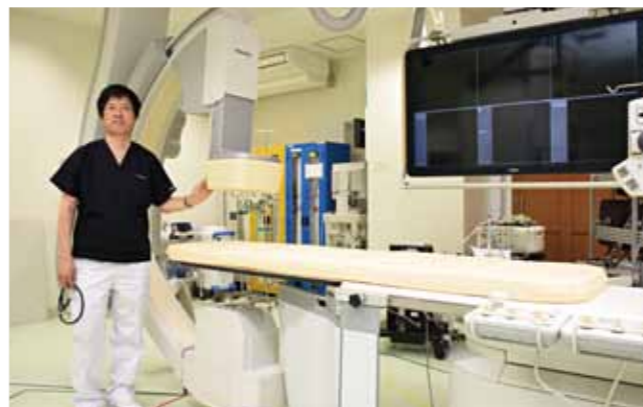
最新の血管撮影装置を 導入しました。

当院はこの度、心臓の検査や治療に用いる最新の血管造影装置を心臓カテーテル検査室に導入しました。これにより正確な診断と患者さんへの負担の低減が可能になりました。

・心房細動などの不整脈へのカテーテルによる心筋焼灼術
 今後も、地域の皆さんに高度な医療を提供できるように努めてまいります。

【新しい血管撮影装置の特長】
 ・X線による被ばくを大幅に低減し、患者さんの安全性が向上。
 ・より高画質な画像を撮影でき、複雑な病気に対する検査・治療が可能に。

■次のような病気の治療に活用します。
 ・狭心症や急性心筋梗塞などへの冠動脈ステント術
 ・下肢閉塞性動脈硬化などへのカテーテルによる下肢血行再建術



ご案内
 Announce

リレー・フォー・ライフに 参加しませんか？

リレー・フォー・ライフとは、がんと闘う患者さんの勇気を称え、家族や支援者が交代でたすきをつないで歩く世界的なチャリティイベント。当院も福井で開催されるウォーキングイベント(リレー・フォー・ライフ・ジャパンふくい実行委員会主催)に、がん患者さん・ご家族・職員でつく

る「チームなでしこSAISEIKAI」として2011年から参加しています。今年のイベントに、当院チームの一員として参加して下さる方を募集しています。
 参加ご希望の方は、集学的がん診療センター(TEL 0776-28-1212)までお問合せください。

日程 2017年9月2日(土)16:00
 ~3日(日)12:00
会場 ふくい健康の森(福井市栗栗町)
参加費 500円
 (がん患者さん、18歳未満は無料)
内容 リレーウォーキング、ルミナリエ、がん患者・家族・支援者の交流会など。



昨年の様子



ご意見
 Opinion Box

「荷物の預け場所」 についてのご意見

いただいたご意見

車イスの家族の通院付き添いをしていると、荷物が多く大変です。手荷物をあずけられる場所があると嬉しいです。
 (外来通院患者さんご家族より)

この度は貴重なご意見をありがとうございます。お荷物を預けられる方のために、本館1階エスカレーター横にコインロッカーを設置しております。使用時間は、診療日の午前8時から午後5時までです。ぜひご利用ください。(荷物お預け時に100円を投入して施錠し、ご利用後は鍵で解錠すると100円が返却されます。)
 また、ご入院の際のお荷物運搬は、総合案内前にカートの準備がございますのでお気軽にご利用ください。ご不明な点がございましたら、スタッフまでお声かけください。



ご意見箱設置場所

- 本館1階
 - 総合サービスカウンター横
 - 内視鏡センター受付前
 - 緩和ケア病棟
 - ヘアサロン横 休憩コーナー
- 本館3階
 - 家族待合室内
- 東館1階
 - 東館玄関横



コラム
 Column

わたしの おススメの1冊

水野敬也、長沼直樹 著 文響社

「人生はニャンとかなる！」 明日に幸福をまねく68の方法



副院長
三井 毅

まとまった時間で本を読むという習慣がないため、好んで読むのはいわゆるエッセイが多いのですが、今回はエッセイとは関係なく、この1冊をおススメします。表紙の猫の凛々しい顔を見るだけで元気になるんですが、猫の写真集は世の中数多あり、さらにDVDやインターネットでいつでも限りなく見られます。

この本は、猫写真ページごとに関係ありそうな(?)偉人や著名人の言葉が並んで、何かしら楽しい毎を送るヒントが添えられています。

る1冊。軽く見て過ごせませす。私が気に入っているのは「成功の秘訣は、何よりもまず、準備すること」という言葉です。なお、「人生はもっとニャンとかなる」という続刊も出ています。
 としてもう1冊おススメなのが、「なぜ、「これ」は健康にいいの？」。順天堂大医学部の小林弘幸教授が、専門の自律神経に絡めて病気の防ぎ方を綴っています。副題は「副交感神経が人生を決める」です。何とか副交感神経優位の人間になりたいと思わせる1冊です。